



ちたわか

知多市の就労体験事業

若者就労支援フォーラム開催



若者就労支援講演



「超短時間雇用のすすめ ～岐阜市の取り組みから～」

講師 大原真須美さん

(岐阜市超短時間ワーク応援センター長)

若者支援センターが事務局を担う知多近郊の支援機関で組織するネットワーク「ちた子ども若者支援ネット」では若者就労支援フォーラム2025を3月2日、知多市青少年会館で開催しました。「超短時間雇用がつくる新たな生き方」をテーマに、第1部では知多市の就労体験事業報告で体験者や事業所からの感想を披露。第2部の講演会「超短時間雇用のすすめ」では、多様な働き方を目指す岐阜市の先進的な取り組みについて学びました。

「超短時間雇用」とは聞きなれない言葉ですが、これは東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫教授が提唱する雇用モデルのことで、障がいや疾患などにより短時間の就労を希望する人が、一般の職場で週20時間未満の特定の職務を担当する、従来の雇用形態とは異なる包括的なワークスタイルです。岐阜市では、「すべての人に働くことを通じて居場所と出番をつくるのが幸せにつながる」という考えのもと、多様で柔軟な働き方を実現するため、障がい等がある方の社会参加と自立を促すため、超短時間雇用の取り組みを進めており、講師の大原さんがセンター長を務める岐阜市超短時間ワーク応援センターは令和4年に開設。人手が欲しい企業と、短時間で働きたい求職者をマッチングし、企業には仕事の切り出しから雇用の定着を、求職者には労働条件の整理や職場見学や体験をサポートしています。昨年度までの2年間で100社以上に事業説明を行い、ワーカーの登録者も130人を超えました。雇用事例では、ビジネスホテルでのシーツはがし週1日3時間、図書館での本の整理週3日1日2時間など、「本当に人材が必要な時間に必要な内容で雇用でき、業務の品質の向上につながります」といった企業からの声も聞かれています。知多市でこうした取り組みをすぐに導入するのは難しいかもしれませんが、体験事業の地道な継続を積み重ねてこうした働き方の事業所の開拓を進めていけたらと思います。

知多市の就労体験事業

知多市の就労体験事業報

6年度は 12 人で延べ 63 日間体

6年度の就労体験実績は左の表のとおりです。このうち体験先への就労は2名、体験先以外への就労は4名ありま

事業所名	体験日数		事業所名	体験日数		事業所名	体験日数	
	男性	女性		男性	女性		男性	女性
ゆいの会	1	1	コニックス(株)	5	5	SORA保育園	4	4
中央図書館	5	5	石濱農園	5	5	サポートちた	5	5
権利擁護支援センター	6	3	尾張桂新堂本舗	1	1	ビジネスホテル寺本	8	8
(株)光マーク	6	6	竹内新聞店	3	3	美らファーム広見	3	3
ヤマナカ知多店	3	3	デイサービスメロディ東海	4	4	(有)光和	4	4

体験受入協力事業所一覧

事業所名	業種	所在地
(資)安島事務所	測量登記	知多市
(株)エクセル	エクステリア	知多市
オカトク(株)	織布製造	知多市
(株)粕田組	土建業	知多市
(有)加藤造園	造園・土木業	知多市
(株)クチュリエール	縫製業	知多市
スズキ塗装(株)	塗装・防水業	知多市
SORA保育園	保育	知多市
竹内新聞店	新聞店	知多市
(有)タケウチ総合保険サービス	保険業	知多市
竹新製菓(株) おかき屋辰心	食品製造	知多市
(特非)地域福祉サポートちた	福祉法人	知多市
知多市社会福祉協議会	福祉法人	知多市
知多市立中央図書館	公共施設	知多市
(特非)知多地域権利擁護支援センター	権利擁護	知多市
美らファーム広見	トマト栽培	知多市
トータルビューティーサロKOU	エステ	知多市
(株)日誠	清掃業	知多市
(株)光マーク	スポーツ用品加工	知多市
ビジネスホテル寺本	宿泊業	知多市
ペンリーメロディ知多店	その他のサービス	知多市
(株)モリタ	ガス機器販売	知多市
(株)ヤマナカ知多店	食品スーパー	知多市
(特非)ゆいの会	福祉法人	知多市
石濱農園	野菜栽培	東海市
(株)aiサービス	ガラス販売	東海市
大岩新聞店	新聞店	東海市
(株)スカイネット	製造業	東海市
八角(株)	練り食品製造	東海市
(福)檸檬	高齢者介護	東海市
大蔵餅常滑本店	食品製造	常滑市
(株)尾張桂新堂本舗	食品製造	常滑市
(一社)soffice	障がい者福祉	常滑市
トアルハント	農業・家具製造	常滑市
(有)文四郎製陶所	製陶業	常滑市
ホンダ美創	清掃業	常滑市
マツヤ産業(株)	自動車部品	常滑市
コニックス(株)半田支店	清掃業	半田市
(株)東海維持管理工業	建設・清掃業	半田市
あさだ新聞店	新聞店	東浦町
春香園	イチゴ栽培	東浦町
マルスフードショップ(株)	食品スーパー	東浦町

注) 敬称略。市町ごと50音順に掲



※写真は体験の一例

体験報告から

Kさん

30代男性



「就職は別世界の感じがあったので、まず就労準備支援事業所「ゆっかむ」にお世話になりました。そこへ毎日通って、作業を担当し、外出する習慣が身に付きました。相談の中で職業適性は事務系が向いているとわかり、知多地域権利擁護支援センターと社会福祉協議会でパソコン入力作業などを体験しました。美らファーム広見さんでは、ニンク収穫などの農作業でしたが、家での園芸経験もあって、自信をもって体験できました。

体験して感じたことは、体験先では一人になれるスペースがあると落ち着けること、指示や相談のために決まった担当の方が一人いらっしやるとより安心だと思いました。今は自分で応募したアルバイトを続けていますが、週1日3時間から徐々に増やしていきたいので、気持ちに余裕を持って働いています。将来のことまでは考えず、まずは小さいステップから始めて、続けていくことが大切だと思います。

事業所報告から

Q 当初と現在の変化については

初めは緊張もされていたと思いますが、文書の誤りを指摘していただいたり、「わからなかったところは、こういうふうにしました」と説明してもらえたり、じっくりとその方の仕事ぶりをみさせていただいています。

Q 就労体験希望者のどんな情報を伝えてほしいですか

「こんなことがしたい」などの希望、今までの経験、職歴、パソコン作業の可否など。前職をやめた理由も、苦手な場面を避けるために把握できればと思います。また未経験の場合は未経験でもできるものを切り分ける参考になります。

Q 受け入れ側として気を付けていることは。

先入観を持たないように心掛けています。

Q 体験に来る方に守ってほしいことは。

個人情報も多く扱うので、体験で知り得た情報は大切に扱ってほしいです。

Q 体験や就労受け入れの場合に行った配慮はありますか。

経験や得意不得意を把握した上で、適性にあった仕事をしていただくようにしています。また、同時に色々な仕事を頼まず、重なった場合は優先順位を伝えています。

6年度の知多市若者未来応援事業



中学卒業後の進路決定の際の参考にしていただこうと、定時制高校などの進学説明会を昨年9月29日、知多市青少年会館で開催しました。卒業を控えた中学3年生を含めその家族など80人余りの方が参加。初めに大府高校夜間定時制在校生の方が体験談を披露した後、知多近郊6校の先生方が各学校それぞれの特徴を紹介しました。後半の個別相談会では、志望する高校のより詳しい情報を参加者が熱心に尋ねていました。

若者サポート進路を考える会

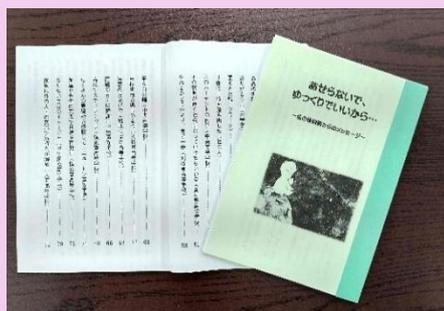
昼間・夜間定時制やフレキシブル高校 など6校の特徴を紹介

説明参加高

- 県立横須賀高等学校定時制
- 県立半田商業高等学校定時制
- 県立刈谷東高等学校昼間定時制
- 名古屋市立中央高等学校昼間定時制
- 県立武豊高等学校
(フレキシブル高校)
- さくら国際高等学校



体験談集「あせらないで、ゆっくりでいいから…」をお分けします



若者未来応援事業実行委員会で毎年実施している「若者サポート進路を考える会」では、不登校経験者の方からの体験談を披露しています。ここ数年の新しい体験談を加えた28人分の体験談集「あせらないで、ゆっくりでいいから… ～私の体験談からのメッセージ～」を作成しました。将来を考える上での何かヒントが見つかるかもしれません。ご希望の方には、若者支援センターでお分けします。

6年度の知多市若者未来応援事業

**「見えないSOS、伝わりにくい困りごと」
不登校・発達障害への理解と支援を深める**

一緒に考えてくる人の存在が大きな力にな

【講演要旨】

小学校低学年の頃は「学校をさぼる自分はダメな人間」と否定し、学校の話聞くだけで意欲気力が削がれ記憶がない時期もあった。小学4年で発達障害の診断があり、周囲の理解と関わりが変化、通級利用を開始し、できることが広がった高学年。中1後半から2度目の不登校に直面しながらも緩く学校とつながるコツを模索し、自分の進学先を見つけ、前に進んだ中学生時代。そんな中、いつ登校しても「おはよう」と声をかけてくれる友達や、「無理しなくていいよ」と休ませてくれた保健の先生の気遣いに救われた。不登校のきっかけはわからなくても、いろいろな出来事を一緒に考えてくれる人の存在が力になった。学びたいことややってみたいことを試せる学校との付き合い方はきっとあるはず、探してみよう。

◎森本さんが2度の不登校経験を生かして開発した、自分の困りごとや疲れ具合を可視化してSOSを発信できるセルフケアアプリ「Focus on」
はこちらから



不登校や発達障害に対する理解を深めていただくとうと、2月16日、知多市青少年会館で、若者未来応援事業のサポートセミナーを開催しました。不登校経験のある森本陽加里（ひかり）さんの講演会に、会場とオンライン合わせて80人余りの方が参加。講師の実体験に基づく話に熱心に耳を傾けました。講演では不登校を繰り返す中で変化する思いや行動、また復学を後押ししてくれた周囲のサポートについて様々なエピソードを織り交ぜながら話されました。

若者サポートセミナー



知多市若者支援センターだより

「ちたわか」第17号

編集：知多市若者支援センター

〒478-0001 知多市八幡字堀切91-1

(知多市青少年会館内)

TEL 0562-36-2960/FAX 0562-36-2915

Mail wakasen.yucca@gmail.com

HP：[https://www.city.chita.lg.jp/docs/](https://www.city.chita.lg.jp/docs/2022061700031/)

2022061700031/

若者支援センター
Facebookはこちら



公式 LINE アカウントのご登録を

お問い合わせにお答えするほか、催しなどの情報を発信しています。友だち登録をお願いします！

登録はこちらから

